



JOGボアアップ(68cc)ピストン・シリンダー・シリンダーヘッドキット 取扱説明書

商品番号: 01-05-4411

適合車種およびフレーム号機:

JOG ARTISTIC SPEC (CY50)	3KJ1	3KJ-1000101 ~	JOG Z (YG50Z)	3YK1	3YK-2660101 ~ 2780000
	3KJ2	3KJ-1884101 ~		3YK2	3YK-3117101 ~ 4575000
	(CY50D) 3KJ3	3KJ-2432101 ~		(YG50ZS) 3YK3	3YK-4575101 ~ 4676000
	3KJ4	3KJ-2416101 ~	ス-パ- JOG Z (YG50Z)	3YK4	3YK-5096101 ~ 5337000
	3KJ6	3KJ-4996101 ~	JOG EX (YG50EX)	3YK5	3YK-5337101 ~ 5428000
JOG SPORTS EDITION (CY50Z)	3RY1	3RY-1541101 ~	ス-パ- JOG Z (YG50Z)	3YK6	3YK-6221101 ~
JOG TECH 21 (CY50Z)	3RY2	3RY-1862101 ~	ス-パ- JOG ZR (YG50ZR)	3YK7	3YK-6715101 ~
JOG Z (CY50Z)	3RY3	3RY-2175101 ~	ス-パ- JOG ZR (YG50ZR)	3YKB	SA13J-
JOG Nextzone (YG50)	3YJ1	3YJ-2555101 ~	JOG (YV50)	5BM1	SA01J-
	(YG50D) 3YJ2	3YJ-2780101 ~	JOG-C (YV50-C)	5BM2	SA01J-
	3YJ3	3YJ-2936101 ~	JOG Z- (YV50Z)	5EM1	SA04J-
	3YJ4	3YJ-4676101 ~	JOG	5EM2	SA04J-
	3YJ5	3YJ-5428101 ~	JOG	5EM3	SA12J-

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ戴きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

慣らし運転は、40 km/h以下の速度で、100 km以上行って下さい。又、アクセル開度は1/2以下で行って下さい。慣らし運転中はガソリタンクにもエンジンオイルをガソリン100に対してエンジンオイル1の割合で入れ、混合して下さい。ノーマルキャブレターのメインジェットを#5~10番程度上げて下さい。燃料は必ず無鉛ハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。スパークプラグはキット内に含まれていますが、焼け具合により熱価を設定してください。尚、必ず抵抗入りのスパークプラグを使用して下さい。ノーマルCDIユニットでは、十分なパワーを発揮する事が出来ません。CDIユニットの交換を行って下さい。

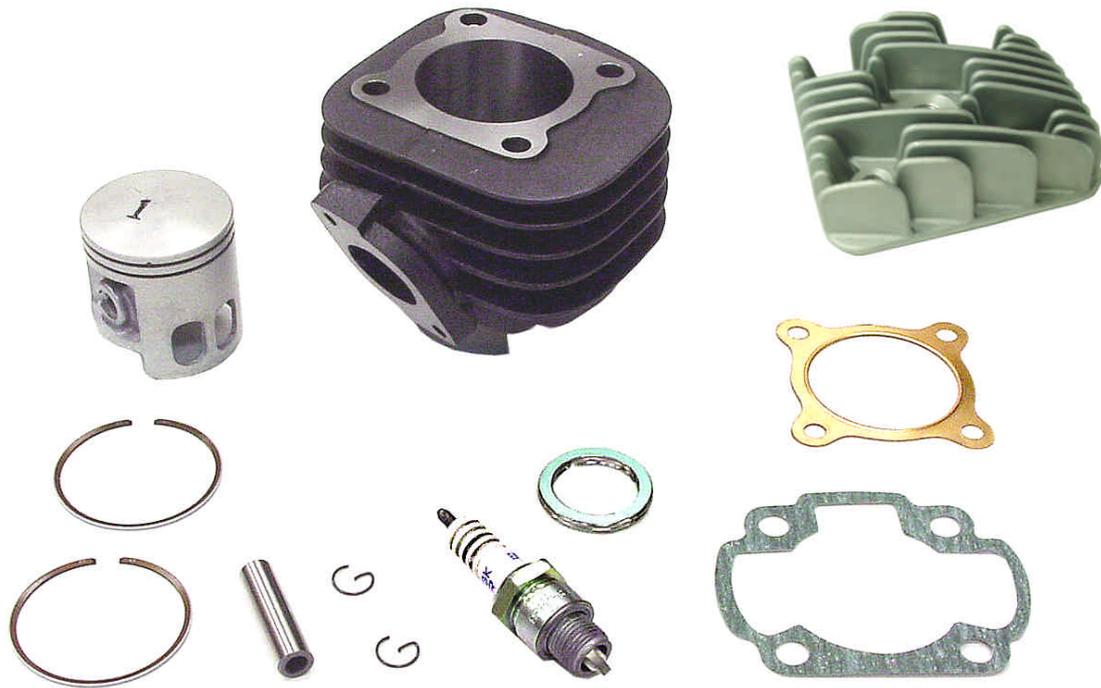
取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。この製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。当製品は、上記適応車種、フレーム号機の車両専用用品です。他の車両には取り付けできませんので御注意下さい。当製品の取り付けには、上記適応車種にあったヤマハ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うこととお勧めします。取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やヤマハ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用的ある専門店へご依頼されることをお勧め致します。パッキンの一部、ボルト、ベアリングは再使用しますが、損傷、劣化が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

注意 下記内容を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- ・一般公道では、法的速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- ・作業を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ガスケット、パッキン類の再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

警告 下記内容を無視した取り扱いをすると人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを始動させるときは、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)



NO.	キット内容	QTY
1	シリンダー	1
2	ピストン	1
3	ピストンリング	2
4	ピストンピン	1
5	ピストンピンサークリップ	2
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	エキゾーストパイプガスケット	1
9	スパークプラグ BPR8HS	1
10	シリンダーヘッド	1



取り付けに使用する工具等

- マイナスドライバー極小
- ラジオペンチ
- スパナ10 - 12
- メガネレンチ12 - 14
- プラスドライバー中
- プラスドライバー大
- ボックスレンチ8mm
- ボックスレンチ10mm
- ボックスプラグレンチ20.6mm
- エクステンションバー小
- ラチェットレンチ
- カッターナイフまたはスクレーパー
- その他 ウェス
- 2ストロークオイル

性能、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめ御了承下さい。
 クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。但し、修理又は、交換等にかかる一切の費用は対象となりません。正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。
 この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

取 り 付 け 要 領

水平な場所でセンタースタンドで車両を確実に支えます。これからの作業は必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。

取り外し

ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにながら各パーツを取り外していくようにして下さい。

取り外したボルトやナットは無くさないよう、どの場所を使用するのかわかるように保管して下さい。

1. カバー類の取り外し



サイドカバーモール、シート、ハイマウントストップランプ、ボディーカバー、テールランプ、フットレストボードを取り外します。

2. マフラーの取り外し



シリンダー側のボルト2本を取り外します。

使用工具 BOXレンチ10mm
エクステンションバー小
ラチェットレンチ



ステー部のボルト2本を取り外します。

使用工具 メガネレンチ12-14

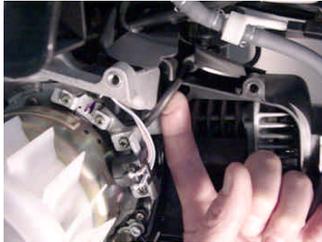


3. ファンのエアシュラウドの取り外し



ボルト4本または3本を取り外し、エアシュラウドを取り外します。

使用工具 プラスドライバー大



ホース2本をシリンダーのエアシュラウドから外します。

4. エアークリーナーケースの取り外し



2本のボルトを緩めます。

使用工具 プラスドライバー大



チューブを止めているクリップを外します。

エアークリーナーケースをキャブレターから取り外します。

キャブレターにゴミが入らないように注意して下さい。

5. シリンダーのエアシュラウドの取り外し



プラグキャップを外します。



キャブレターを少し上によせながら外します。先程外したホース2本に注意しながら外して下さい。

6. プラグを取り外します。



使用工具 BOXプラグレンチ20.6mm
ラチェットレンチ

7. シリンダーヘッドの取り外し



4個のナットを対角に何回かに分けて緩めます。

使用工具 BOXレンチ10mm
ラチェットレンチ



取り外します。

8. シリンダーを外します。



9. ウエスを詰める



クランクケース内にゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。

10. ピストンを外す



サークリップの片側を外します。

使用工具 ラジオペンチ



ピストンピンを抜いてピストンを外します。



ベアリングを外しておきます。

11. シリンダー取り付け面をきれいにする



カッターナイフやスクレーパーなどでガスケットのカスを取り除きます。



ウエスで汚れを拭き取ります。

取り付け

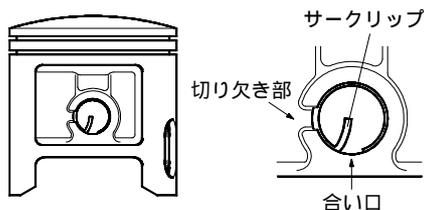
1. キットのピストンにサークリップを片側だけ取り付けます。



使用工具 ラジオペンチ

この時、サークリップを回してみ、しっかりセットされているか確認して下さい。

サークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けして下さい。



2. ピストンリング2個を文字面が上になるように取り付けます。



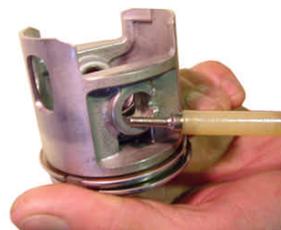
3. 各部にオイルを塗る



ピストンリングにオイルを塗ります。



ピストンピンにオイルを塗ります。



ピストンピン穴にオイルを塗ります。



ベアリングにオイルを塗ります。

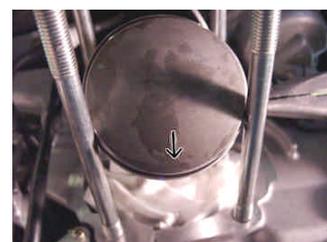
4. ピストンの取り付け



コンロッドにベアリングを入れます。



ピストンピンをさして取り付けます。



ピストンは矢印が下向きになる方向で取り付けます。



もう片方にサークリップを取り付けます。
使用工具 ラジオペンチ

5. 詰めていたウエスを取り外します。



6. シリンダーガasketを取り付けます。



7. シリンダーの取り付け



シリンダー内面にオイルを塗ります。



ピストンのノック位置にピストンリングの
合口を合わせ、シリンダーを取り付けます。



確認！！

シリンダーが動かないように手でおさえ、ファンを回してピストンを動かしてみます。ここで、スムーズに動かないと、ピストンリングがピストンにしっかりとセットされていないことがあります。この場合はシリンダーを取り付け直して下さい。

8. ヘッドガスケットを取り付けます。



ヘッド取り付け面をきれいに拭き取ります。



シリンダーヘッドガスケットを取り付けます。



シリンダーヘッドガスケットの出ている面を、
シリンダーヘッドの方向に取り付けます。

9. シリンダーヘッドの取り付け



排気側

シリンダーヘッドには方向性があります。
上図のように取り付けて下さい。



BOXレンチを使い、手で仮締めします。
使用工具 BOXレンチ 10 mm



キックスターを数回動かしながら、ナット4個を対角に何回かに分けて本締めします。

使用工具 BOXレンチ 10 mm
ラチェットレンチ
締め付けトルク 14 N・m (1.4 kgf・m)

10. プラグの取り付け



プラグを手で締めます。



本締めします。

使用工具 BOXプラグレンチ 20 .6 mm
ラチェットレンチ
締め付けトルク 20 N・m (2.0 kgf・m)

11. シリンダーのエアシュラウド、エアークリーナーケースの取り付け

シリンダーのエアシュラウド、エアークリーナーケースを組付けます。

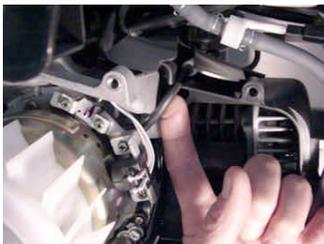


クリップで、キャブレターにチューブを取り付けます。



ネジ2本で、エアークリーナーケースを取り付けます。

使用工具 プラスドライバー大
締め付けトルク 9 N・m (0.9 kgf・m)



ホース2本をシリンダーのエアシュラウドに取り付けます。

12. ファンのエアシュラウドの取り付け



ファンのエアシュラウドを4本もしくは3本のボルトで取り付けます。

使用工具 プラスドライバー大
締め付けトルク 7 N・m (0.7 kgf・m)



このとき、デフレクタ(YG50以降)をはさみ込まないように注意して下さい。

13. マフラーの取り付け

シリンダー側のボルト2本とステー部のボルト2本を仮締めします。



シリンダー側のボルト2本から本締めします。

使用工具 BOXレンチ10mm
エクステンションバー小
ラチェットレンチ
メガネレンチ12-14

締め付けトルク

シリンダー側: 9 N・m (0.9 kgf・m)

ステー部 : 29 N・m (2.9 kgf・m)

14. カバー類を取り付けます。

サイドカバーモール、シート、ハイマウントストップランプ、ボディーカバー、テールランプ、フットレストボードを取り付けます。

15. エンジン始動

各部を点検し、ネジやナット等の緩みがないか確認します。

エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動して下さい。約5分間、アイドリングにおいておきます。

エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイルもれがないか点検して下さい。

16. お願い

排気量をアップしたにもかかわらず、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となります。一般公道を走行される場合は、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行って下さい。

原付2種の登録を済ませ、付属の原付2種マークをお貼り下さい。

17. ならし運転について

KITを取り付け、最初の500kmはスロットル開度を3/4までにおさえて走行して下さい。又、この期間中、絶対に最高速は出さないで下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

〒584-0069

大阪府富田田市錦織東3丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>